

まだまだ気を抜けない! 断型コロナウイルス感染症

令和3年7月14日 富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)

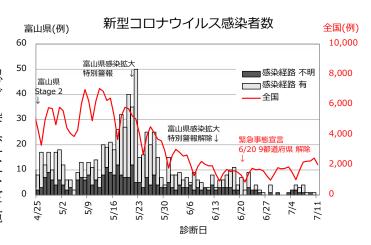
感染症発生動向速報

(令和3年第27週分·7月5日~7月11日)

《 インフォメーション 》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、7月11日時点で820,715例となり、14,955例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は首都圏を中心として増加傾向であり、感染再拡大が懸念されています。7月12日に5道府県のまん延防止等重点措置が解除されましたが、東京都では緊急事態宣言が発令されました。現在、東京都と沖縄県で緊急事態宣言が8月22日までの予定で発令され、4府県でまん延防止等重点措置が実施されています。



県内の今週の新規感染者数は15 例で、7月11日時点の累積感染者数は2,060 例になりました(図;棒グラフ)。新規感染者数及び入院者数は減少傾向であり、7月3日から警戒レベルはステージ2からステージ1へ引き下げられました。また、県内各市町村でワクチン接種が進んでいますが、接種後もこれまで通りの感染対策が必要です。

県内では、5月下旬には新規陽性例の全てが N501Y 陽性の変異株(ゲノム解析では英国由来のアルファ株*)になりました。アルファ株より感染性が高いとされるインド由来の変異株(デルタ株*)が国内で急速に拡散することが懸念されているため、衛生研究所での変異株検査は6月上旬からデルタ株を検出するための L452R 変異検査へ変更しました。7月8日に県内で2例の L452R 変異検査陽性例が検出され、7月12日時点で L452R 変異検査陽性例は累積で4例となっています。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。警戒レベルはステージ1ではありますが、デルタ株による感染拡大を防ぐため、高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。 相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691; 24 時間対応)にご連絡ください。 ** WHO(世界保健機関)による呼称

《 全数報告の感染症 》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 15件

二類感染症 結核 4 件(①第 26 週診断分: 70 歳代、男性 ②50 歳代、男性 ③80 歳代、男性 ④90 歳代、男性)

四類感染症 レジオネラ症 3件(①②共に60歳代、男性、肺炎型 ③70歳代、男性、肺炎型) 五類感染症 梅毒 2件(①30歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期 ②30歳代、女性、無症候)

《 定点報告の感染症 》

定点あたりの数 今週の県内上位6疾患 順位 今週 (増減) 先週 疾病名 1位. RSウイルス感染症 6.76 (\uparrow) 6.34 感染性胃腸炎 2位 2.59 (\uparrow) 2.14 3位 咽頭結膜熱 0.69(1)0.52 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 $0.28 (\downarrow)$ 0.45 4位 突発性発しん $0.28 (\rightarrow)$ 0.28 6位 手足口病 0.07(1)0.03

RS ウイルス感染症が 全国的に増えています! 3 歳未満の幼児に多く、症 状は発熱、鼻汁。2~3割 は気管支炎、肺炎に進展。 生後6ヵ月以内、または基 礎疾患があると重症化しや すく、注意が必要です。

富山県感染症情報センターURL: https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry

〇感染症発生動向調査報告状況(令和3年第27週 令和3年7月5日~令和3年7月11日)

新型 中部 和型 中部 中部 和型 中部 中部 和型 中部 中部 中部 和型 中部 中部 中部 中部 中部 中部 中部 中			今週報告分(第27週)								累積報告数(令和3年第1週(1月4日)~)							
一無機会成	<u>分類</u>	疾患	新川	中部				その他※1	計	新川						計		
一無機会成	新型インフルエンザ等 感染症	新型コロナウイルス感染症			8	1	6		15	116	133	364	66	769	32	1, 480		
E型形態						1	2		3	8	5	21	10	27		71		
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										3	1	2		6		
レジオ 今底 1 1 3 1 3 7 3 14 4 15 1 2 2 5 5 5 5 5 5 5 5	四類感染症	E型肝炎								1				1		2		
五祭参春後		つつが虫病								1						1		
会性関係 会性関係		レジオネラ症	1	1			1		3	1	3	7		3		14		
無性施炎	五類感染症	ウイルス性肝炎								2						2		
超度製造性レンサ深重態免疫 後天性免疫不全症候解		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	2	2		5		
接来性免疫不全結核等		急性脳炎										1				1		
程度性性が表達 医療経験		劇症型溶血性レンサ球菌感染症										2		2		4		
接降性術炎球菌療験を置		後天性免疫不全症候群								1				1		2		
水痘(入院例) 梅毒・ 1 1 1 2 1 1 4 13 19 接種性リフトコックス症 液燃風 1 1 2 113 1,306 144 769 2.444 四肢結膜熱 2.25 16.63 10.50 1.20 6.76 112 113 1,306 144 769 2.444 の患者教を示す) 不度 1 2 1 5 2 2 8 31 128 6 105 238 の患者教を示す) 不度 2 1 2 1 7 8 6 0 33 424 78 192 787 の患者教を示す) 不度 1 0 1 1 8 23 の患者教を示す) 不度 2 2 2 2 2 8 8 38 19 92 40 82 271 不成論性見め 2 2 2 2 8 8 38 19 92 40 82 271 不成論性見め 2 2 2 2 8 8 38 19 92 40 82 271 不成治性異常な 1 1 2 1 2 2 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3		
構造性 ウィブ コックス度 1		侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13		
操程性クリプトコックス症		水痘(入院例)												1		1		
破傷圏		梅毒			1		1		2	1	1	4		13		19		
大京 大京 大京 大京 大京 大京 大京 大		播種性クリプトコックス症												2		2		
RSウイルス感染症 9 133 42 12 196 112 113 1.306 144 769 2.444 10 50 28 11 12 113 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 13 1.306 1144 769 2.444 11 12 13 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 1.306 1144 769 2.444 11 13 13 1.306 1144 769 2.4		破傷風										1				1		
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す) 大きのでは、		インフルエンザ										5				5		
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す) 大きのでは、			9		133	42	12		196	112	113	1, 306	144	769		2, 444		
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す) A 講添血性レンサ球菌咽頭炎 (下段は定点当たりの患者数を示す) 15 3.75 11 3.67 15 2.13 1.50 0.25 0.69 0.25 1.50 0.25 0.69 0.25 1.50 0.25 0.69 0.25 17 0.25 17 0.25 17 0.25 17 0.25 17 0.25 18 0.25 60 0.20 33 0.50 42 2.59 40 2.59 18 3.50 1.50 0.25 10 0.25 10 0.25 10 0.10 10 0.07		RSワイルス感染症					1. 20											
定点疾病 人群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1 7 8 6 60 33 424 78 192 787 (下段は定点当たりの患者数を示す) (の患者数を示す) (のまま) (の患者数を示す) (の患者数を定す) (の患者数を定す) (のまま) (の		咽頭結膜熱		1	2					28	31	128	6	105		298		
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す) 「不食は定点の患者数を示す) 「不食は定点の患者数を示す) 「不食はでは、			0. 50	0. 33	0. 25	1	1.50			60	33	424	78	192		787		
(下段は定点当たりの患者数を示す)	定点疾病	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 				0. 25	0. 70					.2.	70	102		757		
(下夜はた高すり) 水痘 1	/ 	感染性胃腸炎								505	258	395	168	1, 008		2, 334		
 水痘 手足口病 (G染性紅斑 (C染性紅斑 (C染性紅斑 (C染性紅斑 (C染性紅斑 (C染性紅斑 (C染性んん (C) 2 (C) 3 (C) 4 (C) 1 (C) 4 (C) 5 (C) 6 (C) 7 (C) 8 (C) 8 (C) 8 (C) 8 (C) 8 (C) 8 (C) 9 (C) 4 (C) 1 (C) 4 (C) 4 (C) 4 (C) 4 (C) 7 (C) 8 (C) 8 (C) 9 (C) 9 (C) 4 (C) 4			3. /5	3.67	2. 13	0. 50	3.00		2. 59	1	6	22	5	26		60		
年定日納 0.25 0.10 0.07 1 7 1 12 21 安発性発しん 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 6 19 3 3 1 3 3 1 3		水痘								•	0	22	0	20				
伝染性紅斑 2 2 2 2 8 38 19 92 40 82 271 20 5 0.50 0.25 0.50 0.20 0.28 16 1 2 1 20 1 20 流行性耳下腺炎 16 1 2 1 20 1 20 流行性耳下腺炎 0.25 0.25 0.03 1 1 7 1 1 2 2 1 1 20 1 1 20 1 1 2 2 1 1 20 1 1 20 1 1 2 2 1 1 20 1 1 2 2 2 2		 手足口病	1				1			4		10	1	8		23		
安発性発しん 2 2 2 2 8 8 38 19 92 40 82 271			0. 25				0. 10		0.07		1	7	1	19		21		
東発性発化を 0.50 0.25 0.50 0.20 0.28 ヘルパンギーナ 1 1 2 1 20 流行性耳下腺炎 0.25 0.03 2 5 4 6 19 流行性角結膜炎 1 1 1 1 1 細菌性髄膜炎 2 2 2 マイコプラズマ肺炎 1 7 1 9 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1 7 1 9		伝染性紅斑									· ·	1	· ·	12		21		
0.50 0.25 0.50 0.28 16 1 2 1 20 流行性耳下腺炎 1 1 1 2 2 5 4 6 19 流行性角結膜炎 1 1 1 1 1 1 1 細菌性髄膜炎 2 2 2 マイコプラズマ肺炎 1 7 1 9 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1 1 1 1		突発性発しん								38	19	92	40	82		271		
流行性耳下腺炎		7(78/12/18/07/18	0. 50		0. 25	0. 50	0. 20		0. 28	16	1	2		1		20		
 流行性耳下腺炎 流行性角結膜炎 細菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1 1 1 1 1 9 		ヘルパンギーナ								10						20		
流行性角結膜炎 1 細菌性髄膜炎 2 無菌性髄膜炎 2 マイコプラズマ肺炎 1 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1		流行性耳下腺炎				0, 25			0.03	2	2	5	4	6		19		
無菌性髄膜炎		流行性角結膜炎									1					1		
無国性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		細菌性髄膜炎												2		2		
		無菌性髄膜炎												2		2		
		マイコプラズマ肺炎									1	7	1			9		
インフルエンザによる入院患者(※2) 1 8 9		感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1						1		
		インフルエンザによる入院患者(※2)										1	8			9		

〇感染症発生動向調査報告状況(令和3年6月分)

		6月報告分						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			3		8	11		1	8		45	54	
				1. 00		2. 00	1. 10							
	性器ヘルペスウイルス感染症			1		5	6		3	3	2	27	35	
				0. 33		1. 25	0. 60							
月報対象疾患	尖圭コンジローマ				2	1	3				3	9	12	
(下段は定点当たり					2. 00	0. 25	0. 30							
の患者数を示す)	淋菌感染症					3	3	1				6	7	
						0. 75	0. 30							
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		1	1	3	6	5	8	11	5	20	49	
		1. 00		1. 00	1.00	3. 00	1. 20							
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			4			4	3		13			16	
				4. 00			0. 80							

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。